

(様式第1号)

平成 年 月 日

茨城県公共交通活性化会議
会長 橋本 昌 殿

(グループ・団体の)

かしてつバス応援団
名 称 (鹿島鉄道線代替バス沿線高等学校生徒会連絡会)

代表者名 圓 城 寺 祐 香 印

平成19年度地域公共交通利用促進活動助成金の交付申請について

標記について、下記により実施したく、地域公共交通利用促進活動助成金を交付されるよう申請します。

記

1 取り組もうとする活動内容

名称	利用促進のためのキャラクターグッズの作成・配布
活動の概要	<p><目的> 平成19年4月より運行を開始した、鹿島鉄道線代替バスの利用を沿線の高校や住民に働きかけることを目的とする。あわせて、当団体の活動をアピールして運動への協力を求める。</p> <p><内容> ※活動内容は分かりやすく記載して下さい。 当団体で作成したキャラクター「かしてつバスくん」を印刷した、チラシやグッズを各学校に配布したり、会員の高校生自ら沿線スーパーなどで配布して、バスの利用促進を働きかける。</p>
スケジュール	活動助成金交付決定を受けて、グッズを作成し3月中に配布活動を行う。

※実施しようとする活動の資料があれば添付して下さい。

2 助成金申請額

100,000円

3 活動に係る収入内訳書

(単位：円)

内 容	金 額
地域公共交通利用促進活動助成金	100,000円
団体・グループの自己資金	56,000円
他の助成金（助成者： ）	0円
その他	0円
合 計	156,000円

4 活動に係る支出内訳書

(単位：円)

内 容	金 額
キャラクターグッズ作成費	156,000円
合 計	156,000円

※団体・グループの予算書があれば添付してください。

5 応募団体・グループの概要

所在地（連絡先）	〒311-0033 石岡市東光台3-4-1 茨城県立石岡商業高等学校	TEL (0299) 26-4138 FAX (0299) 26-1029		
会員数	7 高等学校	設立年度 ①平成 19 年 ② 不明		
組織の状況	区分	役職又は役割分担	氏名	住所
	役員・事務局等	事務局 団 長 副団長 顧 問 "	茨城県立石岡商業高等学校 圓城寺 祐 香 小 林 あさひ 莊 司 直 哉 栗 又 衛	茨城県石岡市東光台3-4-1 " (茨城県立石岡商業高等学校) " (茨城県立石岡商業高等学校) " (茨城県立石岡商業高等学校) 茨城県石岡市石岡1-9 (茨城県立石岡第一高等学校)
設置目的	当団体の前身である「かしてつ応援団」の理念を受け継ぎ、生徒自らが通学手段を守ること、沿線住民の移動手段を確保することおよび交通問題を軸に地域の諸問題を主体的に考える力を身につけることなどを目的とする。			
	これまでの活動内容の概要 19年 7月 発足会議開催 19年8月 沿線4市長への要望書提出 NHKへの出演 19年10月 石岡市議会と懇談 19年12月 キャラクター作成 関鉄グリーンバスのギャラリーバスへ作品展示 20年1月 沿線保育園へキャラクター塗り絵作成依頼			

※(1) 役職又は役割分担は、通常設けている表現と分担を書いて下さい。

(2) 5については、表の内容が記載された総会資料等を添付していただければ記載は不要です。

(様式第3号)

平成20年 3月24日

茨城県公共交通活性化会議
会長 橋本 昌 殿

(グループ・団体の)

かしてつバス応援団
名 称 (鹿島鉄道線代替バス沿線高等学校生徒会連絡会)

代表者名 押久保 幸枝 印

平成19年度地域公共交通利用促進活動助成金の事業実績報告について

標記について、下記のとおり関係書類を添えて報告します。

記

1 事業の内容

団体・グループ名	かしてつバス応援団 (鹿島鉄道線代替バス沿線高等学校生徒会連絡会)
事業名	利用促進のためのキャラクターグッズの作成・配布
具体的な活動内容 平成20年2月29日 当応援団のキャラクターデザインおよび「みんなで乗ろう!代替(だいたい)バス」の文言の入ったシールを発注 平成20年3月7日 沿線19小学校・7中学校に対してシール配布のための在籍生徒数調査依頼 平成20年3月14日 シール1万5千枚納品・代金支払 沿線1幼稚園・2保育園に在籍する園児約500名の保護者向けにシールおよび文書の配布 平成20年3月18日 石岡駅前において、県立石岡第一高等学校・県立石岡第二高等学校・県立石岡商業高等学校の各生徒会役員および顧問教諭による一般市民向けにシール・チラシの配布、活動資金の募金依頼のPR活動を実施(来年度以降、毎月一回程度PR活動を行う予定) 平成20年3月中 沿線小・中・高校にシール配布	
活動の効果(活動した結果、良くなったことや目立った変化があればお書きください) シールの作成や配布活動を通して、高校生たちに公共交通の必要性の認識がさらに深まった。 友人・知人にも広く訴えていく素地が出来上がった。 一般市民などに向けてPR活動を行うことで、鹿島鉄道線代替バスおよびその他の路線バスの存続の必要性を多少なりとも認識してもらえた。 運行会社との連携がさらに深まり、より地域密着した運行へつなげるよう運動を進める基礎ができた。 石岡駅前での配布活動の際、NHK水戸放送局の取材があり、県域デジタル放送・FMラジオで報道された。	

